



150th
YAMAGATA FRUITS

高温少雨
対策

緊急号

いいもの成らせるさくらんぼ便り

乾燥している！直ちに灌水！

双子果の発生が多かった園地では対策を実施

- ◆ 今後も高温が続く予報（仙台管区気象台 <早期天候情報> 7/20 頃から、かなりの高温。<1か月予報> 気温は平年よりも高い。）
- ◆ 樹体の維持と花芽の充実のため、**直ちに灌水**（双子果対策にもつながる）
- ◆ 双子果が多い園地や樹では、**重点的に対策を実施**

1 直ちに灌水 ～弱樹勢や幼木、乾燥しやすい園地から実施～

- ・灌水は、下表を目安に、朝夕の涼しい時間帯に行う

灌水設備がある場合	灌水設備がない場合
スプリンクラー等で1週間に1回を目安に、20～30mm程度	幹回りを中心に100～200L/樹 幹回りの土壌表面を稲わら等でマルチ

2 双子果対策 ～来年も多発する可能性あり！多発園や樹は対策を実施～

< 双子果の多い品種・部位 ～重点的に対策を実施する～ >

- ・主要品種の中では「**紅秀峰**」
- ・**明る過ぎる園地**（枝数が少ない樹）
- ・**樹勢が弱い樹**
- ・**日当たりの良い部位**（樹上部、南側・西側の枝など）

（1）遮光資材の設置

【設置期間】**7月中旬～9月上旬頃**

【設置方法】**40～50%程度の遮光資材**を雨よけの天井部等に設置

【注 意 点】花芽の充実不良を防ぐため、9月中旬には撤去する

【現地での対策事例】

- ・反射シート（白色、幅1.8m）を南面や西面にパッカーで設置し、部分的に遮光



（2）夏季剪定は実施しない又は時期を遅くする

【対 応】① **基本的に実施しない**

- ② 樹勢が極端に強い場合は、**9月上旬以降に実施（気温が下がってから）**

【注 意 点】「**紅秀峰**」は、双子果が特に発生しやすく樹勢も低下しやすいため**実施しない**

- ◆ 双子果対策の詳細は、マニュアルを御覧ください



やまがたアグリネット会員限定
（無料で会員登録可能）

3 病虫害防除 ～褐色せん孔病の発生が多いため防除を徹底～

<褐色せん孔病> 収穫直後から10～14日間隔で、5回以上、散布

<ハダニ類> こまめに発生状況を確認し、かかりムラがないよう丁寧に散布

<カイガラムシ類> 8月上中旬頃に、枝幹部に薬液がかかるよう十分量を散布

こまめに水分・塩分を補給し、適宜、休憩する。熱中症対策は万全に！

村山総合支庁農業技術普及課
TEL 023-621-8291

西村山農業技術普及課
TEL 0237-86-8301

北村山農業技術普及課
TEL 0237-47-8630

山形さくらんぼブランド力強化推進協議会（事務局：農林水産部園芸大国推進課・農業技術環境課）